

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人はるのれの里 児童発達支援センターさんりんしゃ		
○保護者評価実施期間	2025年1月22日		2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども一人一人の個性や性格、特徴の理解にチームで共有し取り組んでいること。	各クラスごとに担当が集まり、一人ひとりのお子さんの様子を共有し評価することで共通理解を図れるようにしています。一人の職員の主観ではなく、チームで意見交換し、支援を進めるようにしています。	職員の異動や入れ替わりがあっても、全職員が事業所のミッション・取り組みを共有できるよう、研修を継続していきます。
2	お子様の支援について、保護者との共有を常に行っていること。保護者との協働を意識しながら、お互いが理解した上で支援を進めるようにしていること。	何か支援を進める際は、保護者の方に説明し、理解していただいた上で行うようにしています。こちらでやっていることをご家庭でもやっていただいたり、地域で活かすことができた等の報告をもらえることもあり、ありがたく思っています。	職員一人一人がお子様とご家族のニーズに寄り添った支援ができるように、事業所内での実践を共有するようにしていきます。
3	他機関との連携を積極的に行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が中心となり、就学や地域の園に移行する際の引継ぎ、情報共有を行っています。 ・札幌市の子どもに関わる機関との連携を積極的に行っています。児童発達支援センター会議を通じて、センター同士の関係性構築ができています。 ・指定事業（保育所等訪問・障害児相談支援）、委託事業（地域支援マネジメント事業・療育支援事業）をフル活用し、できる連携を進めています。 	体制面での工夫は必要ですが、職員全員が連携を意識し、業務に当たれるよう継続していきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面と体制的な整備	保護者様からもご意見があったように、「しっかりと掃除をして下さっています。しかし古い建物で子供も沢山いる分、清潔さは保ちづらいと思います。 ・施設は決して新しいとは言えないが清潔に保たれていると思う。」古さが目立つ施設なので、整えたいです。	法人として動けるよう、検討していきたいと思えます。日々の環境では、衛生面に気をつけながら安全に支援ができるよう整えていきます。
2	地域との交流の機会の少なさ	施設がもう少し広ければ、他の機関を招待したり、地域住民の皆さんに見てもらえる機会も作れると感じています。	園庭がないので、地域の幼稚園等の園庭に出かけて遊ぶなどの機会も検討したいと考えています。
3	事業内容や制度面の理解についての職員間の差がある	体制面の限界もあり、様々な事業や連携を行っていますが、経験年数や担当業務によって外部とのつながりでは職員間に差があるため、理解が共有しきれないと感じます。	体制面での工夫は必要ですが、職員全員が連携を意識し、業務に当たれるよう継続していきたいと思えます。